



スプレーカーネーション「カーネ愛知4号」、 「カーネ愛知5号」を開発

開発の背景・ニーズ

カーネーションは、海外からの輸入の増加による販売価格の低迷や、種苗にかかるパテント料による経費の増加など、生産を巡る状況は厳しさを増しており、本県独自のオリジナル品種の開発が望まれていました。

そこで、花束やフラワーアレンジメントの素材として需要の多い単色系スプレーカーネーション品種の開発に取り組みました。

成果の内容

「カーネ愛知4号」は、平成15年に、本県育成の濃赤桃色花・晩生系統と桃色花・早生系統を交配後、選抜して開発しました。花色は紫ピンク色、花径がやや大きく、花弁数も多く、ボリューム感があり、茎が太くしっかりしているのが特長です。

「カーネ愛知5号」は、平成16年に、本県育成の淡黄色花・中生系統と黄緑色花・早生系統を交配後、選抜して開発しました。花色は鮮やかな黄緑色、花径はやや小さく可愛い印象で、茎はやや細めですがしっかりしており、従来品種より収量が多いのが特長です。

両品種とも、愛知県花き温室園芸組合連合会カーネーション部会育種クラブの協力で、現地試作や市場性評価を行った後、平成21年12月に品種登録出願を行いました。



(左：「カーネ愛知4号」、右：「カーネ愛知5号」)

愛知県農業への貢献

需要の多い単色系のスプレーカーネーションの開発により、種苗にかかるパテント料の軽減と、本県独自のオリジナル品種として産地をPRすることが可能となり、産地の振興に貢献することが期待されます。